安全データシート(SDS)

改定日　2022 年 6 月 22 日

発行日　2023 年 9 月 11 日

１．化学品及び会社情報

化学品の名称　：RK カラー MO-S4
供給者の会社名称　：稲垣機料株式会社
住所　：602-8317京都市上京区五辻通七本松西入東柳町535
担当部門　：
電話番号　：075-461-0656
FAX.番号　：075-465-5122
奨励用途と使用上の制限　：工業用（草木染め染料用媒染剤）
整理番号　：1591733

２．危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響
ＧＨＳ分類
物理化学的危険性
　引火性液体　：区分に該当しない
健康に対する有害性
　急性毒性（経口）　：分類できない
　皮膚腐食性／刺激性　：区分 2
　眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
　　：区分 1
　呼吸器感作性又は皮膚感作性：分類できない
　生殖細胞変異原性　：分類できない
　発がん性　：分類できない
　生殖毒性　：分類できない
　特定標的臓器毒性(単回暴露)：区分 2（血液、呼吸器系）
　特定標的臓器毒性(反復暴露)：分類できない
　誤えん有害性　：分類できない
環境に対する有害性
　水生環境有害性（急性）　：分類できない
　水生環境有害性（慢性）　：分類できない
ＧＨＳラベル要素
　絵表示　：

　注意喚起語　：危険
　危険有害性情報　：皮膚刺激（H315）
　　重篤な眼の損傷（H318）
　　呼吸器系、血液の障害のおそれ（H371）
注意書き　：【安全対策】
　　粉じん/煙/ｶﾞｽ/ﾐｽﾄ/蒸気/ｽﾌﾟﾚｰを吸入しないこと。(P260)
　　取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
　　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
　　保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
　　【応急措置】
　　皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
　　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にｺﾝﾀｸﾄﾚﾝｽﾞを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
　　ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
　　直ちに医師に連絡すること。(P310)

特別な処置が必要である。(P321)
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
(P332+P313)
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
(P362+P364)
【保管】
施錠して保管すること。(P405)

３．組成、成分情報

単一製品・混合製品の別　：混合物
成分及び含有量　：①錫酸ｿｰﾀﾞ　8%
②酢酸　3.6%
化学式又は構造式　：
官報公示整理番号（化審法）　：①1-510
②2-688
官報公示整理番号（安衛法）　：
ＣＡＳ番号　：①12058-66-1
②64-19-7

４．応急措置

吸入した場合　：新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合　：多量の水および石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合　：直ちに清浄な流水で 15 分以上洗眼する。ｺﾝﾀｸﾄﾚﾝｽﾞを容易に外せる場合は外す。医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合　：水を飲ませて吐き出させ、医師の手当てを受ける

５．火災時の措置

消火剤　：粉末消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水、一般の泡消火剤
使ってはならない消火剤　：情報なし
特有の危険有害性　：情報なし
特有の消火方法　：情報なし
消火を行う者の保護　：消化作業は可能な限り風上から行い有毒なｶﾞｽの吸入を避ける。
消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、ﾏｽｸ等）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：作業には、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、ﾏｽｸ等）を着用する。
必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項　：漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
除去方法　：少量の場合、吸着剤（土、砂、ｳｴｽ等）で吸着さえ取り除いた後、残りをｳｴｽ、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合は可能であれば、ﾎﾟﾝﾌﾟで回収し、残りは水を流して排出しても問題はないが、出来ればｵｶﾞｸｽﾞ，ｳｴｽ，砂などに吸収させて回収する。
二次災害の防止策　：床を濡れた状態にすると滑りやすく、ｽﾘｯﾌﾟ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。回収物の収納容器は内容物の処分を行うまで密封しておく。

７．取り扱い及び保管上の注意

取り扱い
技術的対策　：取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
注意事項
安全取扱注意事項　：作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具

を着用。取り扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管
適切な保管条件　：屋内の通気のよい場所で容器を密閉し保管する。
安全な容器包装材料　：製品使用の容器に準ずる。

８．暴露防止及び保護措置

管理許容濃度
日本産業衛生学会　：10 ppm　25 mg/m^3（酢酸）
ＡＣＧＩＨ　：TLV-TWA　10 ppm（酢酸）　TLV-STEL 15 ppm（酢酸）
TLV-TWA　2 mg/m^3（Sn として）
設備対策　：蒸気またはﾐｽﾄが発生する場合は局所排気装置を設置する。取り扱い場所近くには洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具
呼吸器用の保護具　：必要により有機溶剤用防毒ﾏｽｸ等。
手の保護具　：ｺﾞﾑ手袋，ﾋﾞﾆｰﾙ手袋
眼の保護具　：保護眼鏡またはｺﾞｰｸﾞﾙ
皮膚及び身体の保護具　：作業衣，作業帽
適切な衛生対策　：取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいする。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態
形状　：液体
色　：無色透明
臭い　：特異臭あり
臭いの閾値　：データなし
ｐＨ　：3.0～5.0（原液）
物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲
沸点　：データなし
融点　：データなし
分解温度　：データなし
引火点　：引火性なし
発火点　：発火性なし
爆発特性
爆発限界　：データなし
比重　：データなし
溶解性
水溶解性　：冷水に易溶
溶媒溶解性　：データなし
その他のデータ
粘度　：データなし
流動点　：データなし
イオン性　：なし

１０．安定性及び反応性

安定性　：通常の取り扱い条件で安定
反応性　：自己反応性なし、水との反応性なし
その他　：情報なし

１１．有害性情報

急性毒性（経口）　：LD_{50}　＞5,000mg/kg（ﾗｯﾄ）
（経皮）　：データなし
皮膚腐食性／刺激性　：（製品の情報）データなし
（成分の情報）酢酸　区分１
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
：（製品の情報）データなし

（成分の情報）酢酸　区分１
呼吸器感作性又は皮膚感作性　：データなし
生殖細胞変異原性　：データなし
発がん性
　ＩＡＲＣ　：データなし
　日本産業衛生学会　：データなし
生殖毒性　：データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：（製品の情報）データなし
（成分の情報）酢酸　区分１（血液、呼吸器系）
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし
誤えん有害性　：データなし

１２．環境影響情報

生態毒性　：データなし
残留性／分解性　：データなし
生態蓄積性　：データなし
土壌中の移動度　：データなし
その他のデータ
　COD　：データなし
　BOD　：データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。
汚染容器・包装　：空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

１４．輸送上の注意

国内法規制陸上輸送　：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
　　海上輸送　：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
　　航空輸送　：航空法に定められている運送方法に従う。
国際法規制　：航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。
国連分類　：国連分類基準には該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件
：輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

国内適用法
　化審法　特定化学物質　：該当せず
　　監視化学物質　：該当せず
　消防法　危険物　：該当せず
　安衛法　危険物　：該当せず
　　表示　：該当せず
　　有機則　：該当せず
　　特化則　：該当せず
　　通知対象物質　：ｽｽﾞ及びその化合物（№322）、酢酸（№176）
　毒劇物取締法　：該当せず
　船舶安全法　：該当せず
　化学物質管理促進法（PRTR 法）
：該当せず

１６．その他の情報

引用文献等

1.「化学物質有害性評価書」(財)化学物質評価研究機構(CERI)
2.「国際化学物質安全性カード」(ICSC)
3.　公共試験機関測定値
4. IARC Monographs Programme on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans (WHO　国際がん研究機関)
5.「化学物質管理促進法　対象物質全データ」(化学工業日報社)

※　本 SDS は次の規格に基づいています；
JIS Z 7253：2019（含む ISO 11014 及び GHS（Global Harmonised System)改訂第 6 版）

※　注意事項は通常的な取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。
記載内容のうち、含有量，物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険、有害性の評価は現時点で入手できる資料情報データ等に基づいて作成したものですべての資料を網羅したわけではありませんので、取り扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いします。